

岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館 常設展示 1F展示室

松島正幸の旅 — 春～初夏



1988年サロン・ド・パリジャパン展に賛助出品した作品である。
カンヌから車で2時間の小さな村を描いたもの。

2024年 4月1日(月)～7月1日(月)

岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館

岩見沢市7条西1丁目7 電話/FAX 0126-23-8700

開館時間 10:00～18:00 <木曜日は13:30～18:00>

休館日 水曜日、祝日の翌日

入館料 一般 210円 高校・大学生 150円 中学生以下 無料



常設展 松島正幸の世界 <春-初夏>

20点展示
4月1日～7月1日

題名	大きさ	制作年
242 カンヌ	10F	1985
62 楠若葉	30F	1946
26 花を持てる少女	20F	1930
47 サンポールの古い城	12F	1980
83 プロヴァンスの農村	10F	1985
69 大阪の街	30F	1948
21 シピエール	20F	1985
254 北海道の風景	10P	1960
86 シャルトル	15F	1963
250 札幌	10F	1960

題名	大きさ	制作年
59 風景 B	50F	1957
241 南仏カーニュ	10F	1980
45 ラ・ガウド	15F	1984
226 小川のほとり	50F	1990
334 長坂より八ヶ岳を望む	4F	1993
322 公園の中の岐阜美術館	3F	1991
335 奥湯河原にて	4F	1993
42 グラス	20F	1987
49 朝の桜島	10F	1950
82 モンマルトル	15F	1963

松島正幸 ・独立美術協会会員、全道展（全道美術協会）創立会員

- ・個展 東京、大阪、鹿児島、長崎、札幌、小樽、釧路、カンヌ等
- ・作品収蔵 本間美術館、ワルシャワ美術館、北海道立近代美術館、旭川美術館、箱根美術館、東京都庭園美術館、岩内荒井記念美術館、岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館、深川市アートホール東州館 等
- 1910（明治43）北海道一己（現深川市）生まれ
- 1927（昭和 2）前田写真研究部（後の前田写真研究所）夜間部に入部
- 1928（昭和 3）太平洋画会（後の太平洋美術学校）入学
- 1931（昭和 6）第18回二科会展 「花を持てる少女」初入選 中央画壇へ
- 1932（昭和 7）第8回道展（北海道美術協会）「菊」
- 1936（昭和11）第6回独立展「海浜」
- 1938（昭和13）旧満州関東軍従軍画家として、旧満州国黒河（黒竜江）、孫呉、チチハル、ハルピン、興安嶺、外蒙古、新京、奉天、大連、承德へ
ハルピンを拠点とする写生旅行にはあわせて3回ほど。
- 1941（昭和16）第11回独立展協会賞「雪の舗道」「窓から」
- 1944（昭和19）独立美術協会会友。
北海道北部軍配属従軍画家、千島中部ウルップ島、利尻、礼文、知床へ
- 1945（昭和20）全道美術協会展創立会員
- 1946（昭和21）独立美術協会準会員
- 1947（昭和22）独立美術協会会員
- 1950（昭和25）長崎如己堂で長崎医大の永井隆博士と会う。「大いなる遺産」
- 1962（昭和37）渡欧。ルーアン、モレー、モー、バルビゾン、オーベル、ノルマンディー、ベルン、バーゼル、チューリヒなどへ
- 1965（昭和40）～1972（昭和47）北海道教育大学岩見沢分校 非常勤講師
- 1967（昭和42）～1968（昭和43）北海道教育大学札幌分校 非常勤講師
- 1977（昭和52）渡仏。カーニュに滞在。後、カンヌにアトリエを構える。
- 1989（平成 元）岩見沢市に作品49点寄贈。市1点購入。
- 1990（平成 2）岩見沢市に作品53点寄贈。市1点購入。
岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館 開館
- 1999（平成11）肺炎のため逝去（89歳） 深川市140点寄贈
- 2000（平成12）北海道立近代美術館「松島正幸」展 絵画ホール作品寄贈115点
- 2010（平成22）岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館開館20周年記念・松島正幸没後10年展
- 2020（令和2）岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館開館30周年

現在 絵画ホール収蔵 233点